

2 班

B チーム(反対意見)

テーマ:「IFRS を強制適用すべきか」

IFRS 採用のデメリット

① 移行コスト

国内の監査基準から IFRS へ移行する際には、調査コスト・監査報酬・システム導入コスト・コンサルティング報酬等様々なコストがかかる。これらのコストは企業規模が大きくなるほど増大する。

② 業務プロセスの増大

IFRS を適用すると、売上計上基準と固定資産会計基準を変更する必要がある。IFRS では「資産負債アプローチ」が採用されているため、資産を時価評価する必要がある。また、個別財務諸表には IFRS の適用ができないため、日本の会計基準により個別の会計帳簿を作成したのち、決算時において IFRS 用に財務諸表を組み替える作業が必要となる。更に、初年度適用においては前期及び当期を合わせた 2 期分の財務情報の開示の必要性求められる等多くの準備作業が求められる。

③ 実務上の困難

IFRS は原則ベースであるため、解釈の余地が広く実務上の判断が難しい。日本企業がこれまで慣れ親しんできた日本基準とは大きく異なるため、適応には時間と労力がかかる。特に資産の時価評価に関しては公正価値の測定が困難な場合が多く、複雑な評価手法の理解と適用が必要となる。

【参考文献】

・ IFRS とは? 導入するメリットとデメリット日本での現状や会計基準の違いについて解説

<https://www.persol-wd.co.jp/column/accounting-ifs/>

・ なぜ日本は IFRS 導入に踏み切れないのか

<https://www.kochi-tech.ac.jp/library/ron/pdf/2012/03/14/a1130489.pdf>

・ IFRS(国際会計基準)とは? 日本基準との違いや導入のメリットやデメリットを解説

<https://www.clouderp.jp/blog/introducing-difference-ifs-and-japanese-gaap>